

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度 四国地区 徳島ブロック協議会

パートナーシップ推進委員会 委員長 南 幸佑

<p>現 状 分 析</p>	<p>徳島県は、南海トラフ地震や中央構造線・活断層地震がいつ発生してもおかしくはない地域になります。広域で同時多発する災害のため、被害状況の把握や関係機関内部の情報伝達、関係機関への情報提供、災害支援対応が困難になると想定されています。また、コロナウイルスの影響により避難所へ集まる人々の不安が募っている問題もあります。災害や疾病に柔軟に対応していくためには、強固な連携体制を作り、行政や各組織団体が支援を求めている人や支援を行う人に対して情報を発信し共有する場が必要です。</p> <p>そして、サッカーにおいてはコロナウイルスの影響により、2020年度のサッカー大会はほとんど開催されておらず、サッカーを通じて育まれるグッドルーザーの精神を提供する機会が減少しています。また子供の人口減少に伴い、スポーツ離れが加速する中、スポーツを行える環境自体も減少傾向にあります。JCカップの開催ガイドラインを遵守し、各地域のコミュニティーがお互いに協力し合う中で、徳島全域で、子供たちが持続的にスポーツを行うことのできるプラットフォームの構築が必要となります。</p>
<p>連 携 概 要</p>	<p>■ 関係諸団体との連携による防災・疾病ネットワークの構築事業の実施 防災や疾病に対する知識向上や自助、共助、公助の責務と役割を理解したパートナーシップを推進するために、情報の共有する場を我々が作ることで、行政が各地域に適した必要な情報を集約して発信します。</p> <p>■ JCカップU-11少年少女サッカー予選大会事業の実施 勝者をたたえ敗北を次の糧にする心を育てるために、体験事業を通してグッドルーザーの精神をより多くの人々が学ぶことや子供が充実してサッカーを楽しむ環境を保持していくためにも地域コミュニティーの強化を図ります。</p>
<p>政 策 手 法</p>	<p>■ 関係諸団体との連携による防災・疾病ネットワークの構築事業の実施 災害への備えとして共助の力を向上させるため、防災及び疾病に関わる組織、団体の連携を促進し、お互いの情報を集約することで、さらに機動力の高い組織を構築いたします。そして、その構築した組織の機動力を維持するための第一歩として、各組織との連携・協働・情報共有を目的とした防災訓練を実施します。また、多くの団体や県民の皆様に対しても情報発信することで災害及び疾病に対する徳島県全体の意識を向上させます。</p> <p>■ JCカップU-11少年少女サッカー予選大会事業の実施 サッカーを通じて、素晴らしい人財を育成するために、試合と並行して各地域のサッカー選手や指導者が協力して実施する技術やメンタル向上のスポーツ教室事業を行います。さらに青年会議所メンバーをはじめ複数の団体や組織のサッカー選手、指導者を交え、子供たちや保護者と触れあう事業を展開し、地域内また地域間のコミュニティーの強化を促進いたします。</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>【防災】 徳島県危機管理政策課（実施支援） 市町村の危機管理課（実施支援） 徳島県社会福祉協議会（実施支援） 警察（実施支援） 消防（実施支援） 自衛隊（実施支援） JVOAD（実施支援） （公社）徳島県看護協会（実施支援） 徳島県保健福祉部健康づくり課（実施支援） 徳島県医師会（実施支援） 徳島県災害ボランティア連絡会（実施支援） 徳島県自主防災組織連絡会（実施支援） 日本赤十字社徳島県支部（実施支援）</p> <p>【サッカー】 （一社）日本名蹴会（政策協力） 地域のスポーツ指導者（実施支援） 徳島ヴォルティス（実施支援） （一社）徳島県サッカー協会（政策協力）</p>